

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

私は小さい頃から常に興味があり、その大学受験を志望校と言わば、いと同志社女子大学は国家言式試験の合格率が高く、サポートも手厚くしていただけると思ったので受験しようと思いました。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

[1学期]

私は7月中旬まで部活をしていたので引退後の勉強がスムーズにできるようなこの時期は1年と2年で習ったことの復習をしつつも、学校の授業の予習と復習をしっかりと行っていました。今思えば、この復習が自分の受験に役立ったと思います。

[夏休み]

私は7月言式試験も受験したので、継続して復習をしながら、センター言式試験の勉強もしていました。夏休みの後半に入ると、これまでの言式しという事でいくつか模試を受けに行ったりしていました。夏休みはしっかりと基礎を固めることが大事だと思います。

[2学期～入試直前]

2学期からは、応用問題に取り組みように入りました。私は英語が得意ではなかったため英語を重点的にしました。過去問は最新のものからさかのぼるようにして解いていきました。はじめは特徴を捉えるのが苦労しましたが何年か解くと何となくはあります。特徴をつかむことができたので自信をもって本番に臨むことができました。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

前にも書いた通り、私は7月中旬まで部活をしていたので、完全に受験モードに入っていたのは8月に入ってからでした。高校生活最後の部活なので練習の予定は無い勉強です。たまたまは絶対にしたことはありません。この部活が終ると家に帰ると最低限その日の復習、次の日の予習をして、余裕があれば1、2年の復習の時間をとりました。それが寝る時間が遅くなるのは本来車や倒れる睡眠時間はとるようにしていました。テレビはごはんを食べているときだけにするようにして、スマートフォンは、寝る時は電源を切っていました。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

春から過去問を解く必要はない。まずは徹底的に復習からするようにした方が良いでしょう。あとは、夜ふかしをして次の日の授業寝るというにならないように絶対に睡眠時間を十分確保して下さい。小さいことからコツコツ始めれば、まじりかといえると思います。